

平成18年度  
毒物又は劇物の流出・漏洩事故情報一覧

整理番号	発生日月	発生都道府県名	毒物又は劇物の別	毒物又は劇物の名称	事件の概要	事件発生事業所等の登録等の状況	事件の原因(推定含む)	被害状況
1	2006/4/9	岐阜県	劇物	硫酸 (98%)	貯蔵タンクから流出した硫酸が、防液堤のひび割れから地下に浸透し、周辺の河川へ約527L流出した。	業務上取扱者 (届出不要)	貯蔵タンク及び防液堤の老朽化。	魚類へい死。人への健康被害は無い。
2	2006/4/17	東京都	劇物	塩素酸カリウム	付加、塩素酸カリウム、炭素、デンプンを混ぜる化学実験中に発火した。	業務上取扱者 (届出不要)	有機物、付加混在下における摩擦により発火したと考えられる。	生徒2名が軽い火傷を負った。
3	2006/4/20	山口県	劇物	水酸化ナトリウム (48%)	船から水酸化ナトリウムの受入作業中に船側送液ホースの破裂によって約60Lが海上へ漏洩した。	製造業者 (都道府県)	船側送液ホースの劣化。	特になし。
4	2006/4/26	茨城県	毒物	四塩化炭素	製造作業所内のコンクリート製の床に小さな亀裂があり、そこから長年にわたり四塩化炭素が地下に漏洩した。 (漏洩量は不明)	製造業 (国)	製造作業所内のコンクリート製の床の亀裂。	特になし。
5	2006/4/29	東京都	毒物	水銀 (原体)	学校校舎裏のコンクリート上において水銀が飛散しているのが発見された。	業務上取扱者 (届出不要)	いずれかの研究室が所有していた水銀含有機器の破損により生じたと思われる。毒物劇物の不適切な保管管理及び廃棄方法が原因である。	排水拵汚泥の汚染。
6	2006/5/1	新潟県	劇物	硫酸 (70%)	タンクローリーで走行中に横転し、タンクが破損したため、約5.8KLの硫酸が水路に流出した。	業務上取扱者 (三号)	交通事故による。	運転員1名軽傷。 流出した河川の魚が約100匹へい死。
7	2006/5/15	神奈川県	劇物	塩素ガス	当該工場及び近隣工場地帯に塩素ガスを漏洩。 漏洩量：大気中最大濃度5.8ppm (0.4m3)	製造業 (国)	充填ラインへのバルブが閉鎖されたにもかかわらず、塩素ガス発生を続けたため、塩素発生工程内の塩素パイプラインが高圧となった。この塩素を除害塔に導き除害しようとしたが、除害塔へのバルブを全閉にしたため、除害塔の能力を越えた圧力がかかり背圧で漏洩したものの。	健康被害発生なし。
8	2006/5/17	神奈川県	毒物	弗化水素 (原体)	東京港から川崎港に陸送中のタンクコンテナのバルブ部分のフランジが欠損し弗化水素を滴下しながら走行した。 30mL程度(推測)(1滴/数分×2時間)	業務上取扱者 (三号)	当該コンテナは、サイフォン管の修理をしており、輸送時の動揺を防ぐホルダーに正しく再設置しなかったため、サイフォン管が揺れてタンク本体とサイフォン管密閉部分の気密が損なわれ漏洩したものの。	健康被害発生なし。
		輸入業 (国)						

平成18年度  
毒物又は劇物の流出・漏洩事故情報一覧

整理番号	発生日月	発生都道府県名	毒物又は劇物の別	毒物又は劇物の名称	事件の概要	事件発生事業所等の登録等の状況	事件の原因(推定含む)	被害状況
9	2006/5/23	香川県	劇物	ホルマリン (8%)	組織固定用ホルマリン槽の下部の交換用配管が外れたため、ホルマリンが床に約40～50L漏出した。	業務上取扱者 (届出不要)	配管が劣化。	特になし。
10	2006/5/31	茨城県	劇物	臭素 (100%)	定期修理中に臭素貯蔵罐のバルブを誤って開放したため、気体となった臭素(300g～500g)が周辺に漏洩した。	業務上取扱者 (届出不要)	作業ミス。	従業員等54名が目の痛み、のどの痛みを訴え、病院等を受診。(うち2名入院:軽症)周辺住民への健康被害なし。
11	2006/6/2	福井県	劇物	水酸化ナトリウム (48%)	缶に注入中、吐出ホースが外れ、500L～800Lが流出した。	業務上取扱者 (届出不要)	缶とホースの連結の不具合による。	特になし。
12	2006/6/13	大阪府	劇物	塩化ナトリウム(95%) 塩化水素	塩化ナトリウムを缶へ移送中、作業員が持ち場を離れ、スイッチを切るのが遅れた為、過量の塩化ナトリウムが流出し、排水溝の水と反応し、塩化水素ガス並びに亜硫酸ガスが事業所外に漏洩した。	製造業(国) 輸入業(国)	作業中に持ち場を離れた為。	隣接するホームセンターの客2名が、体調不良を訴え、病院に搬送された。
13	2006/6/13	福井県	劇物	水酸化ナトリウム (48%)	塩素回収機の水酸化ナトリウム水溶液の凍結防止蒸気管の蒸気抜きから80～120Lが漏出し、社外へ流出した。	業務上取扱者 (届出不要)	缶内の凍結防止用蒸気管の老朽化。	特になし。
14	2006/6/14	東京都	劇物	四塩化タン アンモニウム	四塩化タン水溶液にアンモニア水を加えて行う実験中に発煙が生じた。	業務上取扱者 (届出不要)	生成された酸化タン又は塩化アンモニウムによる発煙と思われる。	守衛2名・学生11名が喉の傷みを訴え、病院に搬送され内学生1名が1泊の入院をした。
15	2006/6/20	神奈川県	劇物	塩化水素を含む液体 (20～35%)	当該工場構内2箇所及び公道1箇所に断続的な漏れ跡を発見した。(漏れ量は、各10mL程度) ①構内は、大きさ、直径10～15cmで5cm間隔で2カ所 ②路上は、既に多数の車が通過していたため長さ200m×幅1mの帯状に漏れ跡がついていた	製造業 (国)	不明(事故時運行していたローリはすべて一時緊急停止し、漏洩の確認したが、漏れはなく原因不明)。	健康被害発生なし。
16	2006/6/21	東京都	毒物	水銀	水銀含有廃棄物の廃棄に際して金属製容器より漏洩し、コンクリート上に30×50cmの範囲に水銀が飛散した。	業務上取扱者 (届出不要)	水銀を含む金属製容器の上部の小さな穴もしくは亀裂より漏洩。当該容器はビニール袋により2重に梱包したが、破損があって漏洩したものと考えられる。	漏洩箇所の汚染は検出限界以下であり、排水への流入も認められなかった。
17	2006/6/22	埼玉県	毒物	弗化スルホン	地下収蔵庫の燻蒸作業において24時間燻蒸終了後の排気作業時、排気が外のシャワーつなぎ目から50ppm以上のガスが地下収蔵庫及びエレベーターホール前に漏洩した。	業務上取扱者 (届出不要)	排気に用いたスワッチ式の風管接続部分の接続不徹底。汚染区域における修繕作業時の呼吸保護具未着用。	2名にて修繕作業を実施。マスクをせず収蔵庫側からつなぎ目を養生した接続作業員1名が2～3時間にわたり曝露を受け死亡。呼吸保護具を着用し、放出先側から作業した作業員には健康被害なし。

平成18年度  
毒物又は劇物の流出・漏洩事故情報一覧

整理番号	発生年月日	発生都道府県名	毒物又は劇物の別	毒物又は劇物の名称	事件の概要	事件発生事業所等の登録等の状況	事件の原因(推定含む)	被害状況
18	2006/6/26	岐阜県	劇物	クム酸ストロンチウム (5.9%)	工場内において搬送中、トラックから荷崩れし、場内道路上へ流出した。	業務上取扱者 (届出不要)	搬送中の速度超過及び荷の固定不足。	特になし。
19	2006/7/7	埼玉県	劇物	塩化水素	工場内の塩化水素の回収塔から塩化水素が数地外に漏洩した。	製造業 (国)	回収に使用される水が停止し塩化水素の回収ができなかったため。	特になし。
20	2006/7/10	大阪府	劇物	ホムルジド (37%)	使用済みになったホムルジド残液(37%・2~3L)を中和処理する際、希釈等をせずに次亜塩素酸ナトリウム(12%)で処理した為、反応熱によりポリ容器(18L)が破裂し、周囲にホムルジドが飛散した。	製造業 (都道府県)	廃棄の基準に従うことなく、中和処理をおこなった為。	当該作業を行った従業員1名ならびに隣接地にて作業をおこなっていた他社従業員2名が、目・喉の痛みを訴え、病院へ搬送。
21	2006/7/10	岐阜県	劇物	過酸化水素 (35%)	当該劇物を含有する製品を配送先の駐車場において落下させ、容器が破損し、約15Lが流出した。	業務上取扱者 (届出不要)	不注意。	特になし。
22	2006/7/10	広島県	劇物	カドレ'ク'ン (推定)	民家(農家)の倉庫に保管してあった当該毒物入り一斗缶の腐食により流出した。流出量不明。	業務上取扱者 (三号)	当該毒物は、現在不使用の農薬。古くなった一斗缶が腐食したことにより流出した。	家人2名が目の痛み。
23	2006/7/16	愛知県	毒物	弗化水素酸と硫酸混合液 (弗化水素13%・硫酸16%)	歯科技工所から下水に流出(事故後、下水及び当該施設の下水処理場において弗化水素検出はなかった)流出量は不明	業務上取扱者 (届出不要)	取扱者自身の不注意。	特になし。
24	2006/7/25	長野県	劇物	カドレ'ク'ン (99.5%)	豪雨災害による土石流の除去作業中に、土砂内に埋まっていたカドレ'ク'ン缶を重機で破損したため、作業員が目の痛み等を訴えた。	業務上取扱者 (届出不要)	農家倉庫に保管してあったカドレ'ク'ン缶が土石流により流された。	作業員7名が医療機関を受診(軽症)。
25	2006/8/1	静岡県	劇物	塩酸 (35%)	ローリにて運搬中、蛇行運転で走行してきた対向車と正面衝突し、車両缶等に亀裂が生じ、缶内に塩酸約3.600kgが漏洩した。缶内はガスが充満し、上下線通行止めとなった。	業務上取扱者 (三号)	対向車との正面衝突。	衝突事故を起こした運転手2名が骨折やガスを吸う等して病院に運ばれた。
26	2006/8/2	長野県	劇物	カドレ'ク'ン (濃度不明)	農作業小屋の火災により、保管してあったカドレ'ク'ン缶が破裂し池の鯉が数匹死亡した。	業務上取扱者 (届出不要)	農作業小屋の火災。	人的被害なし。

平成18年度  
毒物又は劇物の流出・漏洩事故情報一覧

整理番号	発生年月日	発生都道府県名	毒物又は劇物の別	毒物又は劇物の名称	事件の概要	事件発生事業所等の登録等の状況	事件の原因(推定含む)	被害状況
27	2006/8/3	神奈川県	劇物	アンモニア (100%液体及び気体)	アンモニア船積み時、船内タンクのガスを回収しながら液体アンモニアの充填を行うが、回収タンクに液化アンモニアが流入し滴下した。	製造業 (国)	アンモニアガス回収タンクに液化アンモニアが流入し、7トンクのシール部分が冷却され収縮したためシール部の面圧低下を生じ液化アンモニアが滴下したものの。	健康被害発生なし。
28	2006/8/6	愛媛県	劇物	硫酸 (98%)	倉庫火災により、硫酸が水路へ流出した。	業務上取扱者 (一号)	倉庫火災(出火原因不明)。	漏洩量が少なく水路へ流出したが、被害は特になし。
29	2006/8/7	福島県	劇物	混酸 (硝酸80%、硫酸18%)	通常使用しないタンクに製造品目の混酸が運送タンクから流入し、流入先タンク上部の腐食部分から120L漏洩した。	製造業(国) 販売業(一般)	硫酸タンクの劣化。	周辺住民5名に目や喉の痛みが発生し、うち1名が医療機関を受診したが重篤な健康被害はなし。
30	2006/8/7	香川県	劇物 毒物	塩素 塩化シアン	AMTを製造中、中間体の塩化シアン製造工程で、未処理の塩素ガス及び塩化シアンガスが大気中に流出した。 ※AMT：3-アミノ-5-メチル-1,2,4-トリアゾール(普通物)	業務上取扱者 (届出不要)	非定常時の作業基準書が整備されておらず、施設管理が不十分。	付近の事業場の従業員47名が目や喉の痛み等を訴え、受診した。
31	2006/8/18	福島県	劇物	塩素	30kg(劇物)製造に使用する塩素のボンベからボンベが脱落し、塩素197kgが漏洩した。	製造業 (国)	塩素ボンベ交換時のボンベ締め付け不良。	特になし。
32	2006/8/28	東京都	劇物	クロロピクリン	農家の解体工事現場で、劇物のクロロピクリンと思われる缶を誤って壊し、クロロピクリンが飛散した。	業務上取扱者 (届出不要)	解体した農家に以前使用していた農薬(クロロピクリンと思われる)が残されていたため。	解体工事現場の作業員2名が目や喉の痛みを生じた。
33	2006/9/15	神奈川県	劇物	塩酸 (35%)	塩酸をトラックで輸送時にタンク穿孔から約0.2Lの塩酸が漏洩した。	業務上取扱者 (三号)	タンク内部のゴムライニング部に剥離が出来て内部の鉄板が腐食し、開口部より塩酸が漏洩した。	特になし。
34	2006/9/20	静岡県	劇物	アンモニア	製紙工場の解体工事現場において、鉄製タンク(約15t)の撤去作業を行ったが、残留していたアンモニア水が流出した。	業務上取扱者 (届出不要)	残液確認が不十分であった。	近隣住民及び現場作業員に一時的な目や喉の痛み。
35	2006/9/29	神奈川県	劇物	塩素	塩素の輸送業務を行っている者が、輸送後に返送された空容器(残渣含有)のコックを開けたところ、異臭があり、コックを換気してから作業を行ったが、作業員2名が頭痛を訴えた。	業務上取扱者 (届出不要)	ボンベのボンベハンドル及びアウトレットキャップの緩みで、輸送先ユーザーの閉鎖作業の不足によるもの。	作業員2名が頭痛。

平成18年度  
毒物又は劇物の流出・漏洩事故情報一覧

整理番号	発生日月	発生都道府県名	毒物又は劇物の別	毒物又は劇物の名称	事件の概要	事件発生事業所等の登録等の状況	事件の原因(推定含む)	被害状況
36	2006/10/2	千葉県	劇物	アンモニアガス (濃度不明)	製氷機油抜きパイプが腐食したことから、パイプにひび割れが生じ、ここからアンモニアガス約10kgが大気中に漏洩した。	業務上取扱者 (届出不要)	パイプの腐食。	特になし。
37	2006/10/2	岡山県	劇物	塩酸 (35%)	工場で製造した塩酸(35%)を移送中、パイプライン(バンドレス)の一部が破損し、約50Lの塩酸が漏洩した。	業務上取扱者(届出不要) 販売業(一般)	バンドレスのフランジ面にひび割れが入り、塩酸が浸透して鉄製フランジを腐蝕させ漏洩した。	人的被害なし。 物的被害の状況→塩酸損失、バンドレス・パッキンの損失。
38	2006/10/4	新潟県	毒物	シアン化合物 (濃度不明)	工場を廃止するにあたり土壌調査を行ったところ、溶出量230mg/L及び含有量2470mg/kgのシアン化合物を検出した。(なお、当該事業者は、無届けで事業を行っていた。)	業務上取扱者 (一号)	業務上の漏洩。	周辺の井戸の一時使用中止。
39	2006/10/16	千葉県	劇物	塩酸 (35%)	20L入りポリ容器に収納された塩酸21個を運搬中に道路上に落下させた。ポリ容器2個が破損し、約25Lが漏洩した。	製造業(都道府県) 販売業(一般) 業務上取扱者(三号)	トラック荷台の外周枠を固定する金具の外れ。	特になし。
40	2006/10/22	茨城県	劇物	塩素 (99.4%以上)	ポンプ交換作業中に、ポンプの接触により配管が破損し、塩素約100kg漏洩した。	業務上取扱者 (届出不要)	作業ミス。	作業員2名が咽頭痛などの入院(軽症)。周辺住民への健康被害なし。
41	2006/11/12	大分県	劇物	塩酸 (18%)	使用済み塩酸を回収し、精製処理後、貯蔵するタンクが損壊し、塩酸が流出した。防液堤で流出を食い止めたが、一部が側溝へ流出した。ただちに希釈散水処理、消石灰中和処理を行った。	製造業 (都道府県)	倒壊したタンクは、局所的な繊維強度低下を引き起こし、腐食割れにより、クラックが発生、上下方向に亀裂が成長し、その後、横(円周)方向へ一気に破断したものと推察されている。	特になし。
42	2006/11/16	神奈川県	劇物	アンモニアガス (100%)	船舶からアンモニア気化設備内のアンモニア貯蔵タンクに受入中、接続パイプの仕切り弁から微量のアンモニアが漏洩した。	業務上取扱者 (届出不要)	経年劣化による仕切り弁のパッキン不良でアンモニアが漏洩した。	健康被害発生なし。
43	2006/12/14	岐阜県	劇物	ホルムアルデヒド (7~7.6%)	当該劇物を含有する消毒薬を配送先の駐車場において落下させ、容器が破損し約200mlが流出した。	販売業 (一般)	不注意。	特になし。

平成18年度  
毒物又は劇物の流出・漏洩事故情報一覧

整理番号	発生年月日	発生都道府県名	毒物又は劇物の別	毒物又は劇物の名称	事件の概要	事件発生事業所等の登録等の状況	事件の原因(推定含む)	被害状況
44	2006/12/19	兵庫県	毒物	2,4-ジニトロ-6-(1-メチルピペリジン)-フェノール (原体)	輸入したISOタンク本体と危急遮断弁の取り付けフランジの間の部分に約50g程度漏洩、固化していたことを運搬途中に停車した際に確認した。	業務上取扱者 (届出不要)	当タンクを国外から海上輸送中に漏洩箇所のバルブが緩んだためと推定。荷受前点検も不十分であった。	健康被害発生なし。
		東京都 (荷主)				輸入業 (国)		
45	2006/12/19	静岡県	劇物	水酸化ナトリウム (48%)	保管タンクから計量タンクへの移送管のバルブを閉めずに作業したため、水酸化ナトリウム(48%) 2.3mlが計量タンクから溢れ出し、工場内や敷地に隣接する河川へ流入した。	業務上取扱者 (届出不要)	作業開始時に、バルブの閉鎖状態の確認を怠っていた。	敷地に隣接する河川へ流入し、小魚約2,500匹がへい死。
46	2006/12/29	高山県	劇物	硫酸 (濃度不明)	事業所防液堤内に漏洩した濃硫酸を防液堤内にあった雨水とともに廃水ビツクに送液しようとしたところ、経由するポンプの詰まり、工場排水口末端ゲートからのリークにより硫酸含有廃液の一部が公共用水域へ流失したものの。	業務上取扱者 (届出不要)	設備の維持管理の不足、現場作業員の危機意識の欠如。	人的被害なし。魚のへい死など公共用水域の異常はなし。
47	2007/1/7	埼玉県	劇物	塩酸	破損した外壁の一部が塩酸の貯蔵タンクのゲージ管を損壊し塩酸が流出した。	業務上取扱者 (届出不要)	強風により外壁の一部が破損したため。	特になし。
48	2007/1/22	大阪府	劇物	塩化水素	老朽化した反応タンクの撤去の為、タンク内部を洗浄中、タンク内の五塩化燐と水との反応により、大量の塩化水素ガスが発生し、事業所外に漏洩した。	製造業(国) 輸入業(国) 販売業(一般)	反応槽の老朽化ならびに作業時の確認不足。	隣接地で作業中であった、他社従業員が気分不良を訴え、入院。軽症で、翌日退院。
49	2007/1/25	福島県	劇物	塩酸	配管の継ぎ目が外れて塩酸50Lが漏出した。	業務上取扱者 (届出不要)	配管切り替え工事中であったため、接続した配管を固定していなかった。	特になし。
50	2007/2/1	岐阜県	劇物	水酸化ナトリウム (9%)	送液ポンプ付タンク上部のワ抜きバルブから当該劇物を含有する溶液が噴出した。	業務上取扱者 (届出不要)	タンクのワ抜きバルブの操作ミスと推測。	特になし。
51	2007/2/9	岡山県	劇物	水酸化ナトリウム (48%)	タンクローリーで走行中、交通事故によりローリーが横転し、上部のマニホールドから約2,000Lの水酸化ナトリウムが道路上に流出した。	業務上取扱者 (三号)	交通事故。	人的被害、軽傷3名。通行者1名の右頬に水酸化ナトリウム液が付着、病院に搬送(軽傷)。事故関係車両に乗っていた男性2名(交通事故による被害のみ)。民家への流出なし。高架道路の全面通行止め(6時間)高架下一般道路の交通規制(2日)

平成18年度  
毒物又は劇物の流出・漏洩事故情報一覧

整理番号	発生年月日	発生都道府県名	毒物又は劇物の別	毒物又は劇物の名称	事件の概要	事件発生事業所等の登録等の状況	事件の原因(推定含む)	被害状況
52	2007/2/20	山口県	劇物	硫酸 (85%)	タンクローリーにて硫酸を運送中、パレットから約10Lの硫酸が道路に漏洩した。	業務上取扱者 (三号)	排出口のパレットの閉止が不完全であった。	特になし。
53	2007/2/21	東京都	劇物	エピクロヒドリン	分析用サンプルとして輸入したエピクロヒドリン1Lのプラスチック容器からテーブルの上に数滴漏えいした。臭いもあったため直ちに会議室の出入を禁止し、消防署へ連絡した。	輸入業(国) 販売業(一般)	容器のふたの開め方が不完全であった。	一時、室内に臭気が充満したが、人的物質的被害はなかった。
54	2007/3/14	京都府	劇物	水酸化ナトリウム (24%)	廃水処理用の水酸化ナトリウムが注入ポンプ接続部から漏洩し、防液堤内に30L漏洩し、数10mLが飛散した。	業務上取扱者 (届出不要)	パンプ接続不良(推定)。	特になし。
55	2007/3/15	静岡県	劇物	水酸化ナトリウム (99%)	ほろ付車両にて運搬中、1袋(25kg)が落下し、一部(約2.6kg)道路に飛散した。	販売業 (一般)	車両への積載方法の不備(固定なし)。	回収し、被害なし。
56	2007/3/19	広島県	毒物	水銀	研究施設内で、試薬の廃棄処分にかかる委託業者による水銀柱の運搬作業中に、塞がれていなかった水銀柱の上部キャップから流出した。即時回収措置が講じられた。流出量は約5ml。施設外部への流出はない。	業務上取扱者 (三号)	水銀柱の上部キャップの未確認等、漏出防止の不備及び運搬中の不注意による。	特になし。